



RB26DETT
エキゾーストマニホールド
取り付け解説書



目次

| | |
|------------------|----------|
| 本書について…………… | 2ページ |
| 製品説明…………… | 3ページ |
| 取り付けに必要な工具類…………… | 4ページ |
| 製品の確認…………… | 4ページ |
| 作業前の注意…………… | 4ページ |
| 周辺部品の取り外し…………… | 5～13ページ |
| 純正エキマニ取り外し…………… | 14～15ページ |
| 製品の取り付け…………… | 16～19ページ |
| 現車復帰…………… | 20～23ページ |

本書について

本書は、販売店様が「EXPREME」ブランドの商品を販売するにあたり、事前に作業内容を確認し、取り付け時間、取り付け工賃などを把握出来ることでユーザー様に自信を持ってお勧めいただけるようにご用意致しました。

本書をご活用いただくことで、正確な御見積書を容易に作成していただける事と思います。



EXPREME (エクスプリーム)

EXHAUST(排気) と SUPREME(非常に優れた)を掛け合わせた造語で、4つのコンセプトから創られています。

PERFORMANCE

妥協を許さない、徹底的テストによる性能を追求。

QUALITY

高品質材料、高技術生産と徹底した製品管理による、高品質を提供。

SATISFACTION

取り付け説明書の充実、販売店様用の取り付け解説書、バンテージ付属、出荷レスポンス迅速化など顧客満足度を追求。

GOOD PRICE

多くのお客様に高性能を体験して頂きたい、そのための価格設定。

製品説明

NEW
RELEASE
INFORMATION
Vol.64

EXHAUST MANIFOLD

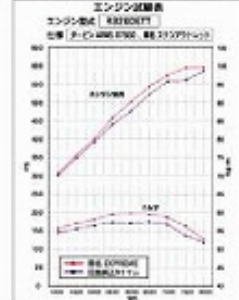
RB26用エキゾーストマニホールド



ガスケット類、バンテージ類全て付属

**純正遮熱板が
付けられます!**

EXPREMEマニホールドと純正N1マニホールドの比較



純正ノーマルでも搭載しているのはもちろんのこと、純正N1マニホールドの性能向上でも貢献が期待できるため、トルクの上昇が期待できます。

RB26 無限大の潜在能力!!

~純正エキゾーストマニホールドでは知り得なかった感動がある~

スーパーハイクオリティ製法

- ロストワックス製法によるパイプを使用。(SUS304)。
- 全域で高性能と高音質サウンドを発揮するパイプ径41.5φパイプ厚2.5mm。
- 高精度TIG溶接。
- 排気干渉を低減するスムーズな集合角度。
- 排気効率を追求した曲げ角度。
- 細部にまでこだわった内面処理。

車種適合 BNR32,BCNR33,BNR34 スカイラインGT-R 全車

タービン適合 純正STD,純正N1,各社ボン付タービン

価格: **¥89,250**(税抜価格¥85,000)

品番: 193094

東名基準の徹底テスト

RB26エキゾーストマニホールドの性能向上を追求し、全車での性能向上を実現。



エキゾーストマニホールド出口寸法比較



タービンエキゾースト入口寸法比較



RB26用エキゾーストマニホールド関連製品



ARMS B7680タービンキット
¥470,400(税抜448,000)

品番: 173012



タービンアウトレットパイプ
¥57,750(税抜55,000)

品番: BNR32/BCNR33 193052
品番: BNR34 193053

TOMEI POWERED INC.

株式会社 東名パワード

〒194-0004 東京都町田市鶴間1737-3 TEL:042-795-8411 FAX:042-799-7851 <http://www.tomei-p.co.jp>

取り付けに必要な工具類

取付には左記の工具類の他、取り付け方法や現車状態により他の工具が必要になります。



| | |
|----------------|-------------------|
| スピナーハンドル | モンキーレンチ |
| Tレンチ | スパナ |
| ラチェット各種 | フレアレンチ |
| エクステンション | ソケット各種 (8~19) |
| 六角レンチ | 六角ソケット 6(ボールポイント) |
| ドライバー プラス・マイナス | 板ラチェット各種 |
| ユニバーサルジョイント | シリコングリス |
| コンビレンチ各種 | スレッドコンパウンド |
| メガネレンチ各種 | TOMEIボルトスムースペースト |
| プライヤー | 潤滑剤 |

製品の確認

下記の内容、数量が揃っているかを確認して下さい。



| |
|--------------------------------|
| エキゾーストマニホールド本体 |
| アイボルトガスケット(オイルライン用 12.5-18) 4枚 |
| アイボルトガスケット(冷却水用 14.2-20) 4枚 |
| アイボルトガスケット(冷却水用 18.1-24) 2枚 |
| インレットチューブガスケット(A) 2枚 |
| インレットチューブガスケット(B) 2枚 |
| エキゾーストマニホールドガスケット 2枚 |
| ロックプレート 4枚 |
| ターボチャージャーインレットガスケット 2枚 |
| 留め金 20set |
| バンテージバンド |
| サーモバンテージ |
| ボルトスムースペースト |

作業前の注意

- ・本品は自動車競技専用部品です。サーキットや公道から閉鎖されたコース内に限って使用して下さい。
- ・本品の取付は特別の訓練を受けた整備士が、設備の整った作業場で実施して下さい。
- ・指定する車種以外への取付はおやめください。本品および、エンジンを破損する恐れがあります。
- ・取り付けの際は適切な工具、保護具を使用しないと、けがにつながり危険です。

周辺部品の取り外し



1. 作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外します。



2. タワーバー等を着用している場合は外します。



3. リフトアップしアンダーカバーを外します。

周辺部品の取り外し



4. ラジエタードレンコックを緩め、クーラントを抜きます。

- ・クーラントを再利用する際は、きれいなパレット等を使用して下さい。
- ・ドレンを緩める際、必ずラジエターキャップを閉めた状態で行って下さい。ラジエターキャップを開けた状態でドレンコックを緩めると、クーラントが勢いよく飛び出し、火傷をする恐れがあります。



5. ラジエターキャップを外し、クーラントを抜きます。

6. クーラントを抜き終わったら、ドレンコックを閉めて下さい。

7. このとき、エンジンオイルも同様に抜いておきます。



8. フロントパイプを外します。
(潤滑剤を塗布してから外して下さい)

周辺部品の取り外し

9. エアクリーナー、エアフロを外します。

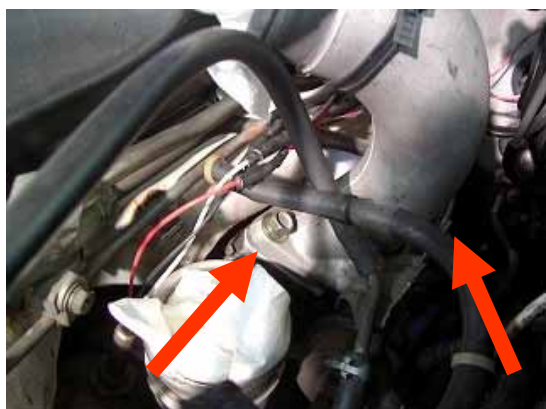


10. 矢印の位置のナット2個を外し、ホースバンドを緩め、フロントアウトレットチューブをホースごと外します。
(外した後、異物が混入しないように、ウエスなどで塞いでおいて下さい。)

・丸印のホースも外しておいて下さい。



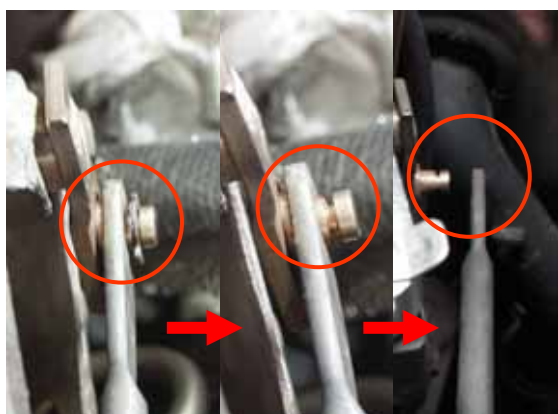
周辺部品の取り外し



11. リヤタービン側のアウトレットチューブを外します。
(写真左側矢印の位置は、ボルト・ナット、右側はボルトのみです。)



12. ウォーターチューブとバキュームチューブを逃がします。
・先にウォーターチューブのアイボルトを緩めておきます。
・3箇所ステーのボルトを外します。
・バキュームチューブのホースを抜いて下さい。
・ヘッド側ステーのボルト2本を外します、ステーもヘッドから外しておきます。
(黄色丸の囲みの位置も外すことも可能ですが、緩みにくい事が多いため、ここでは外さずに進めます。)



13. タービンに入るウォーターチューブを外す作業性を上げるため、アクチュエーターのロッドのピンを外し、ロッドをフリーにしておきます。
(小さい部品なので、落とさないように注意して下さい。)

周辺部品の取り外し

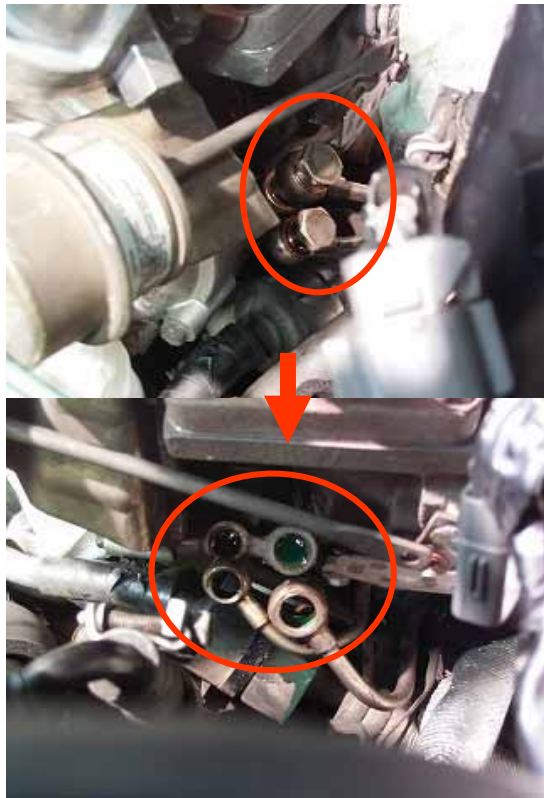


14. フロント・リヤ共にウォーターチューブをタービンから切り離します。
(タービン側のボスごと動いてしまう場合がありますので注意して下さい。)

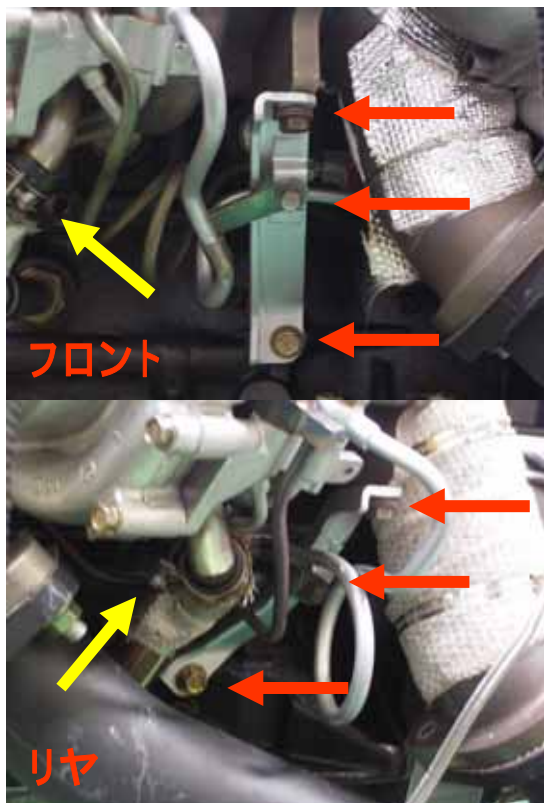


15. エキゾーストマニホールド遮熱板を外します。

周辺部品の取り外し



16. 前後タービンのアイボルト2箇所を外します。



17. 前後タービンスターを外します。

(タービン、パイピングスター共締め、ボディーの3箇所)

- ・ この時、オイルリターンホースのホースバンドを緩めておいて下さい。(黄矢印)

純正エキマニの取り外し



18. ロックプレートをマイナスドライバー等で開き、ナットを外し、タービンの位置を押し下げおきます。

- ・ ヘッド側のナットも外します。
(厚いワッシャーが入ってます、落とさないように注意！)

(潤滑剤を塗布してから外して下さい)



17. フロント側の純正エキゾーストマニホールドを取り外します。



18. フロント側のタービンを外し、リヤ側のエキゾーストマニホールドも外します。

リヤ側のタービンはそのまま残しておきます。

(タービンは残しておいても構いませんが、作業性、ホース類の負担を考慮して外します。)

- ・ ヘッド側にガスケット痕が残っている場合は、スクレーパーで取り除いておきます。

製品の取り付け



19. 遮熱板の丸印の2箇所が、エキゾーストマニホールドに干渉します。干渉位置を確認し、マーキングします。

*バンテージを使用する場合はこの作業は行いません。



20. 当て木をし、裏側からハンマーで叩き出します。再度エキゾーストマニホールドと合わせ、クリアランス確認をします。エキゾーストマニホールドと遮熱板が触れていない程度で十分です。

*バンテージを使用する場合はこの作業は行いません。

製品の取り付け



21. 遮熱板を叩き出す事により、遮熱板取付用の穴位置がずれる場合があります。
その際は、遮熱板の穴をヤスリなどで拡大して下さい。



21. ヘッド側に付属のメタルエキゾーストマニホールドガスケットをはめ、スタッドボルトにTOMEIボルトスムースペースト等を塗布しておきます。



22. リヤ側のエキゾーストマニホールドを、ヘッドに取り付けます。
- ・ 付属のターボチャージャーインレットガスケットをタービン側にのせておきます。

締め付けトルク: 17.7 ~ 23.5N・m (1.8 ~ 2.4kgf-m)

製品の取り付け



23. スタッドボルトにTOMEIボルトスムーペースト等を塗布
付属のロックプレートを用いてタービンに取り付けます。

- ・ ロックプレートをナット締め付け後に、ナット頭部形状に合
わせて確実に折り曲げます。

(詰めておいたウエスを取り除く事を忘れないで下さい。)

締め付けトルク:22.6 ~ 29.4N・m(2.3 ~ 3.0kgf-m)



24. フロント側のタービンをオイルリターンホースに差込み、
置いておきます。



25. リヤ側と同様に、エキゾーストマニホールドをヘッドに
取り付け、タービンとつなぎます。

(詰めておいたウエスを取り除く事を忘れないで下さい。)

現車復帰



26. 前後タービンに、付属のアイボルトガasketを用い、オイルチューブ、ウォーターチューブのアイボルトを取り付けます。

(アイボルトガasketにシリコングリスを塗布して、タービン側にのせておくとガasketが固定されて楽です。)



27. 板金した兼ね合いで、丸の位置の遮熱板が干渉してしま

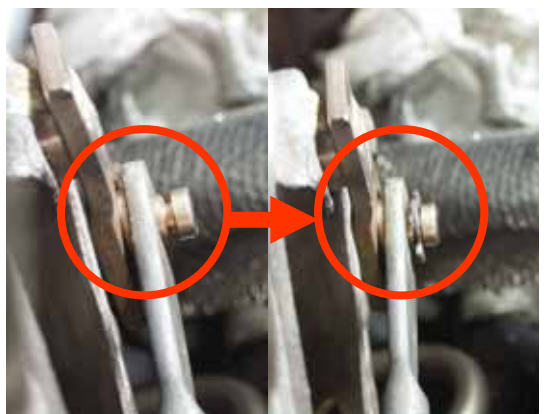
います。
干渉する部分を確認して、プライヤー等で干渉しないように折り曲げて逃がして、遮熱板を取り付けます。



現車復帰



28. ウォーターチューブのネジ部にスレッドコンパウンド等を塗布し、タービンに組み付けます。



29. アクチュエーターロッドのピンをはめておきます。

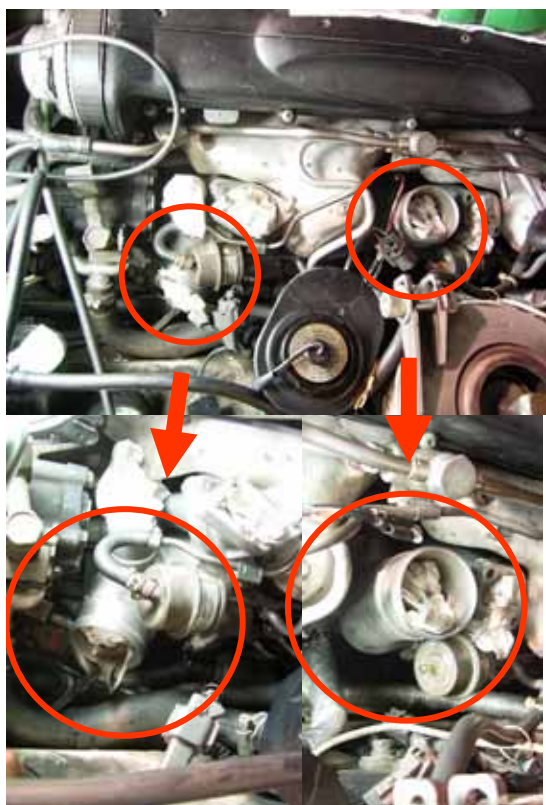


30. ステアをヘッドに取り付けます。

現車復帰



31. ウォーターチューブとエアチューブを元に戻します。
この時、付属のアイボルトガスケットを使用して下さい。
アクチュエーターへのホースも差して下さい。

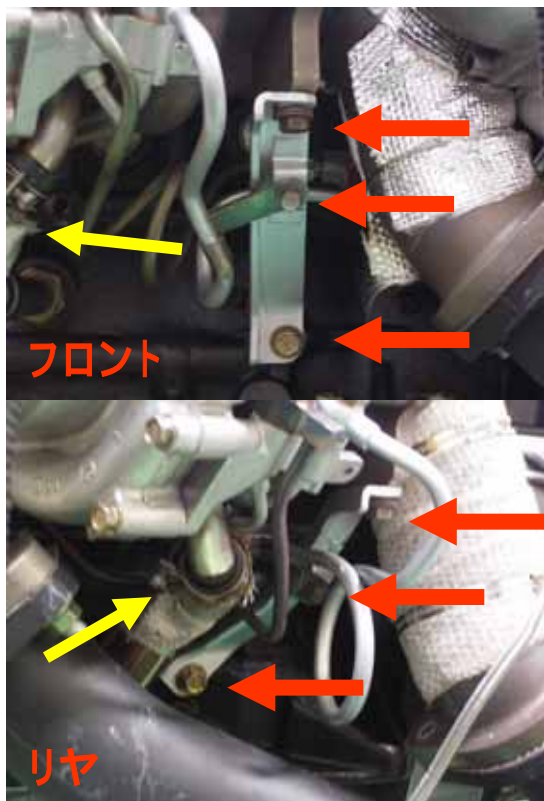


32. 前後タービンのエアパイプを付属のガスケットを使用し
取り付けします。



33. リヤ側サクションパイプを付属のガスケットを使用し取り
付けます。

現車復帰



34. 前後タービンステーを取り付け、オイルリターンホースのバンドを締めます。



現車復帰



36. 各エアホースを取り付けます。



37. フロント側サクションパイプを取り付けます。



38. エアフロ、エアクリーナーを取り付けます。

現車復帰

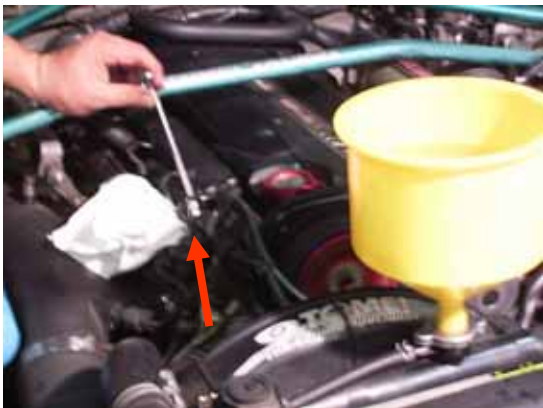


39. フロントパイプを取り付けます。

(スタッドボルトに、TOMEIボルトスムースペースト等を塗布して下さい。)



40. エンジンオイルを規定量注入して下さい。



41. エア抜きプラグを緩めておきます。

(クーラントが吹き出しても良いように、ウエスを置きます。)



42. ドレンプラグが閉まっていることを確認し、ゆっくりクーラントを注ぎます。

現車復帰

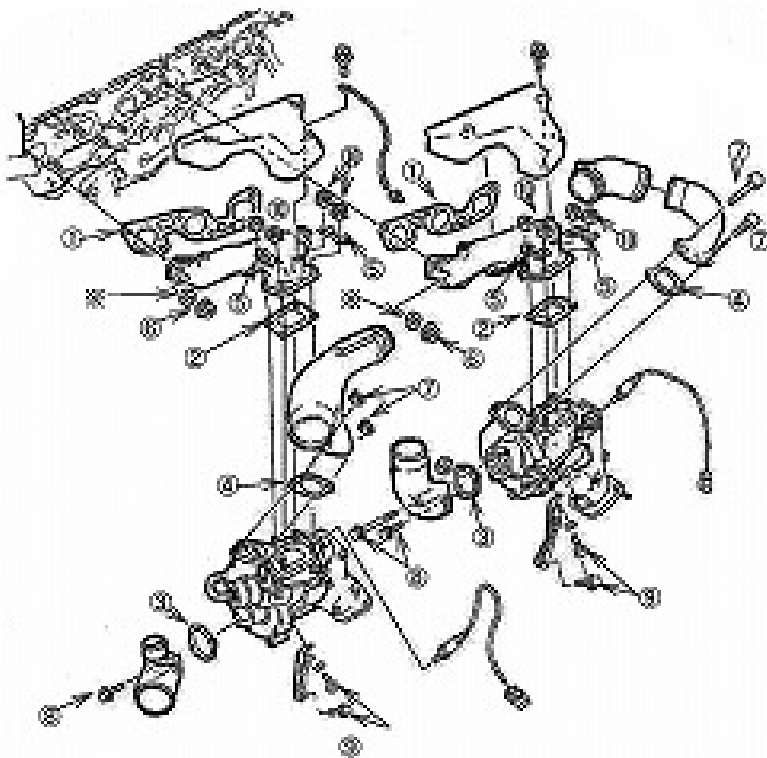


42. バッテリーをつなぎ、エンジンを始動、暖機します。
- ・ ヒーターを稼働させ、クーラントを水路全体に回します。
 - ・ エンジンオイル、クーラントの漏れが無い事を確認して下さい。(外したアイボルト径、要注意)
 - ・ エア抜きが完了したら、プラグを閉めて下さい。
 - ・ 排気漏れが無いことを確認してください。
 - ・ エアパイプ周辺のホースバンドの締め付け不足に夜、漏れが無い事を確認して下さい。



43. 排気漏れが無ければ、アンダーカバーを元に戻します。油量、配線の干渉などを確認し、問題がなければ作業終了です。

各ボルト・ガスケット装着位置、締め付けトルク参考値



＜キット内付属品使用箇所＞

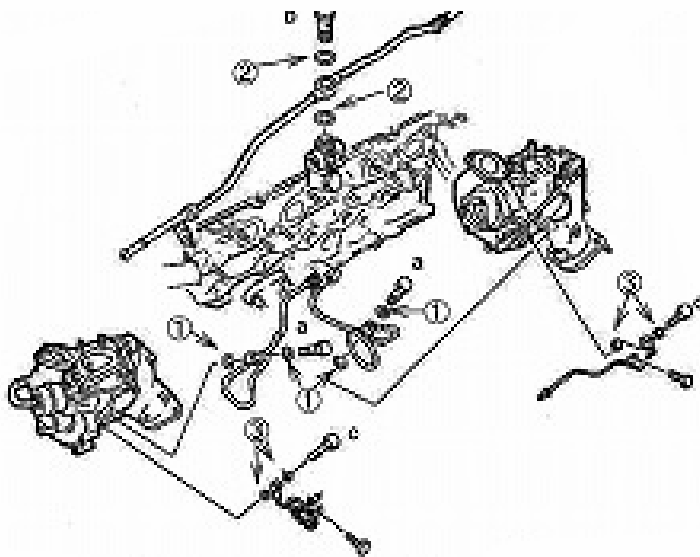
| | |
|---|---------------------|
| ① | エキゾーストマニホールトガスケット |
| ② | ターボチャージャーインレットガスケット |
| ③ | インレットチューブガスケット(A) |
| ④ | インレットチューブガスケット(B) |
| ⑮ | ロックプレート |

＜ノーマル使用箇所と締め付けトルク＞

| | |
|---|----------------------------|
| ⑩ | 17.7～23.5N・m(1.8～2.4kgf・m) |
| ⑦ | 15.7～20.6N・m(1.6～2.1kgf・m) |
| ⑧ | 15.7～20.6N・m(1.6～2.1kgf・m) |
| ⑨ | 15.7～20.6N・m(1.6～2.1kgf・m) |
| ⑪ | 22.6～29.4N・m(2.2～3.0kgf・m) |

ボルト部分には鉄を付きや腐食を防止する為、付属のボルトスムースペーストを塗布してください。

※部分は装着方向に注意



＜キット内付属品使用箇所＞

| | |
|---|-----------------|
| ① | 冷却水(A)用φ14.2-20 |
| ② | 冷却水(B)用φ18.1-24 |
| ③ | オイルライン用φ12.5-18 |

＜各ノーマルボルトの締め付けトルク＞

| | |
|---|----------------------------|
| a | 29.4～39.2N・m(3.0～4.0kgf・m) |
| b | 33.0～41.0N・m(3.4～4.2kgf・m) |
| c | 14.7～19.6N・m(1.5～2.0kgf・m) |

この製品に関わる取り付け、操作上のご相談は下記へお願い致します。

営業時間:月～金(祝祭日、年末年始を除く)9:00～18:00

RB26 エキゾーストマニホールド 取り付け解説書 05年10月

TOMEI POWERED *INC.*

株式会社 東名パワード

〒194-0004 東京都町田市鶴間1737-3

TEL:042-795-8411 FAX:042-799-7851

URL:<http://www.tomei-p.co.jp>

EXPREME専用サイト:expreme.pro.nu